

平成 17 年国勢調査
外国人に関する特別集計結果
結果の概要

1 外国人人口の推移

外国人人口は 155 万 6 千人で総人口の 1.22%，平成 12 年～17 年の 5 年間で 18.7%の増加

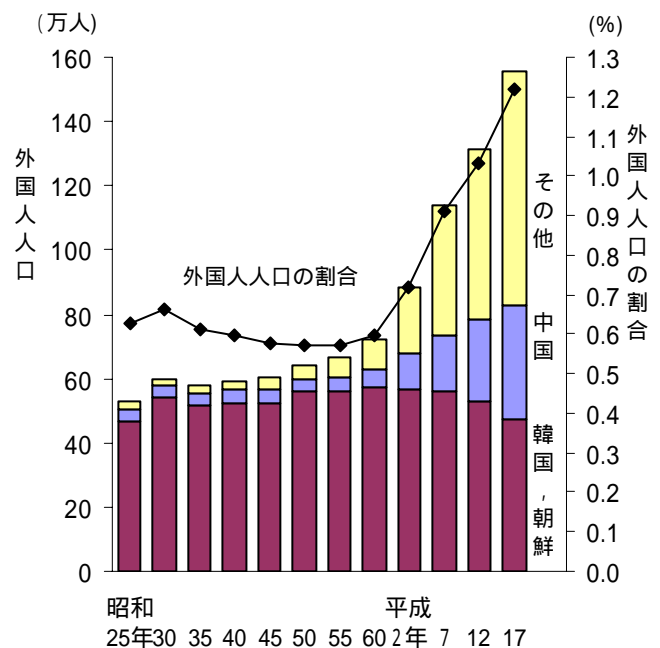
平成 17 年の我が国に在住する外国人は，155 万 6 千人で，総人口に占める割合は 1.22%となっており，平成 12 年～17 年の 5 年間に 24 万 5 千人（18.7%）増加している。（表 1）

昭和 25 年以降の外国人人口の割合の推移をみると，25 年から 60 年までは 0.6%前後で推移し，大きな変動はなかった。しかし，その後は急速に拡大し，平成 2 年に 0.72%，7 年に 0.91%，12 年には 1.03%と初めて 1%を超え，17 年は 1.22%となった。（表 1，図 1）

表 1 総人口及び外国人人口の推移
- 全国（昭和 25 年～平成 17 年）

年	総人口 (人)	外国人人口 (人)	外国人人口 の割合 (%)
昭和25年	84,114,574	528,923	0.63
30年	90,076,594	598,040	0.66
35年	94,301,623	578,519	0.61
40年	99,209,137	596,495	0.60
45年	104,665,171	604,253	0.58
50年	111,939,643	641,931	0.57
55年	117,060,396	668,675	0.57
60年	121,048,923	720,093	0.59
平成 2 年	123,611,167	886,397	0.72
7 年	125,570,246	1,140,326	0.91
12年	126,925,843	1,310,545	1.03
17年	127,767,994	1,555,505	1.22

図 1 外国人人口及び外国人人口の割合の推移
- 全国（昭和 25 年～平成 17 年）



2 国籍別人口

外国人人口のうち韓国，朝鮮が 30.4%，中国が 22.7%を占める

外国人人口を国籍別にみると，韓国，朝鮮が 47 万 3 千人（外国人総数の 30.4%）と最も多く，次いで中国が 35 万 3 千人（同 22.7%），ブラジルが 21 万 5 千人（同 13.9%），フィリピンが 12 万 6 千人（同 8.1%），ペルーが 4 万人（同 2.6%）などとなっており，27 か国で 2 千人以上となっている。（図 2，表 2）

平成 12 年～17 年の 5 年間の増減をみると，モンゴルが 2 千人（197.2%）増，ロシアが 2 千人（63.0%）増，ベトナムが 8 千人（61.2%）増などと増加しているのに対し，ミャンマーは 7 百人（20.3%）減，イランは 6 百人（12.7%）減，韓国，朝鮮は 5 万 7 千人（10.7%）減などと減少している。（表 2）

図2 外国人人口の国籍別割合 - 全国（平成17年）

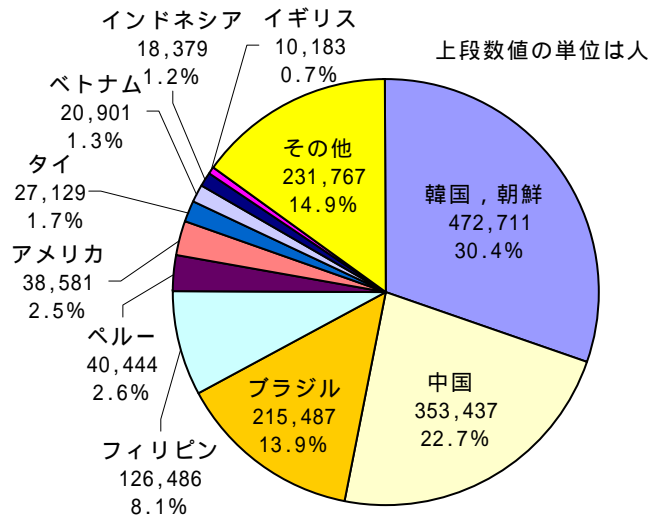


表2 国籍別外国人人口 - 全国（平成12年，17年）

国 籍 1)	人口 (人)		割合 (%)		平成12~17年			
	平成17年	順位	平成12年	順位	平成17年	平成12年	増減数 (人)	増減率 (%)
外国人総数 2)	1,555,505		1,310,545		100.00	100.00	244,960	18.7
男	726,644		621,046		46.71	47.39	105,598	17.0
女	828,861		689,499		53.29	52.61	139,362	20.2
アジア州	1,068,964		970,878		68.72	74.08	98,086	10.1
北アメリカ州	48,637		47,984		3.13	3.66	653	1.4
南アメリカ州	267,007		230,556		17.17	17.59	36,451	15.8
ヨーロッパ州	35,006		30,417		2.25	2.32	4,589	15.1
アフリカ州	6,630		5,628		0.43	0.43	1,002	17.8
オセアニア州	9,981		8,878		0.64	0.68	1,103	12.4
韓国, 朝鮮	472,711	1	529,408	1	30.39	40.40	-56,697	-10.7
中国	353,437	2	253,096	2	22.72	19.31	100,341	39.6
ブラジル	215,487	3	188,355	3	13.85	14.37	27,132	14.4
フィリピン	126,486	4	93,662	4	8.13	7.15	32,824	35.0
ペルー	40,444	5	33,608	6	2.60	2.56	6,836	20.3
アメリカ	38,581	6	38,804	5	2.48	2.96	-223	-0.6
タイ	27,129	7	23,967	7	1.74	1.83	3,162	13.2
ベトナム	20,901	8	12,965	9	1.34	0.99	7,936	61.2
インドネシア	18,379	9	14,610	8	1.18	1.11	3,769	25.8
イギリス	10,183	10	10,411	10	0.65	0.79	-228	-2.2
インド	8,119	11	5,771	14	0.52	0.44	2,348	40.7
カナダ	7,692	12	7,067	11	0.49	0.54	625	8.8
オーストラリア	6,985	13	6,148	12	0.45	0.47	837	13.6
バングラデシュ	5,731	14	5,548	15	0.37	0.42	183	3.3
マレーシア	5,480	15	5,849	13	0.35	0.45	-369	-6.3
スリランカ	4,813	16	3,540	20	0.31	0.27	1,273	36.0
パキスタン	4,613	17	4,666	16	0.30	0.36	-53	-1.1
フランス	4,446	18	3,768	18	0.29	0.29	678	18.0
ロシア	4,139	19	2,540	23	0.27	0.19	1,599	63.0
ボリビア	3,866	20	2,613	22	0.25	0.20	1,253	48.0
イラン	3,794	21	4,348	17	0.24	0.33	-554	-12.7
ネパール	3,783	22	2,511	24	0.24	0.19	1,272	50.7
ドイツ	3,654	23	3,407	21	0.23	0.26	247	7.2
ミャンマー	2,931	24	3,676	19	0.19	0.28	-745	-20.3
アルゼンチン	2,755	25	2,377	26	0.18	0.18	378	15.9
ニュージーランド	2,595	26	2,401	25	0.17	0.18	194	8.1
モンゴル	2,458	27	827	39	0.16	0.06	1,631	197.2

1) 平成17年に人口2,000人未満の国籍を除く。

2) 無国籍及び国籍「不詳」を含む。

3 男女、年齢別人口

男性が多いイラン、パキスタン、バングラデシュ、女性が多いフィリピン、タイ、ロシア

外国人人口を男女別にみると、男性が72万7千人、女性が82万9千人と、女性が10万2千人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は87.7で、日本人の人口性比95.2を下回っている。

人口性比を国籍別人口が2千人以上の国についてみると、イラン（674.3）が最も高く、パキスタン（606.4）、バングラデシュ（285.9）などとなっており、これらの国では男性が多い。一方、フィリピン（23.1）が最も低く、次いでタイ（32.0）、ロシア（42.1）などとなっており、これらの国では女性が多い。（表3）

外国人の生産年齢人口の割合は83.7%で、日本人の65.8%を上回る

外国人人口の年齢（3区分）別割合をみると、15歳未満（年少人口）が9.4%、15～64歳（生産年齢人口）が83.7%、65歳以上（老年人口）が6.8%となっている。これを日本人の年齢別割合（それぞれ13.8%、65.8%、20.3%）と比べると、生産年齢人口の割合が高く、年少人口及び老年人口の割合が低くなっている。

年齢別割合を国籍別にみると、生産年齢人口の割合は、インドネシアの94.1%が最も高く、次いでタイ、ネパール、イランなど計11か国で90%を超え、韓国、朝鮮の75.5%が最も低くなっている。また、年少人口の割合は、ペルーの20.0%が最も高く、インドネシアの5.5%が最も低くなっている。老年人口の割合は、韓国、朝鮮の15.2%が最も高く、マレーシアの0.3%が最も低くなっている。（表3）

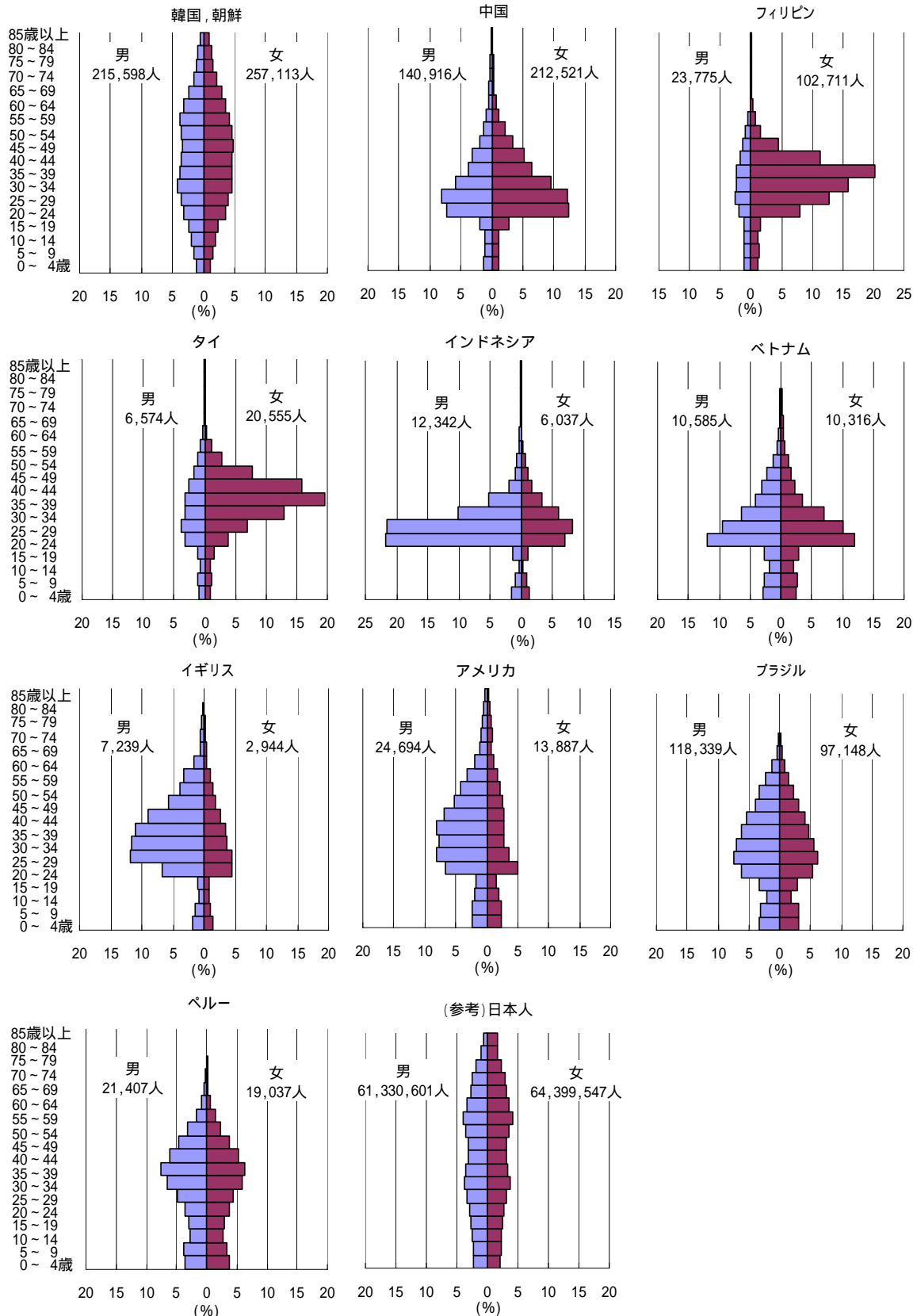
表3 国籍、男女、年齢（3区分）別外国人人口 - 全国（平成17年）

国籍 ¹⁾	男女別人口(人)			人口性比	年齢別人口(人)			年齢別割合(%)		
	総数	男	女		15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
外国人総数 ²⁾	1,555,505	726,644	828,861	87.7	146,805	1,302,603	106,097	9.4	83.7	6.8
韓国,朝鮮	472,711	215,598	257,113	83.9	44,241	356,681	71,789	9.4	75.5	15.2
中国	353,437	140,916	212,521	66.3	24,075	320,704	8,658	6.8	90.7	2.4
フィリピン	126,486	23,775	102,711	23.1	9,156	116,503	827	7.2	92.1	0.7
タイ	27,129	6,574	20,555	32.0	1,581	25,412	136	5.8	93.7	0.5
ベトナム	20,901	10,585	10,316	102.6	3,066	17,521	314	14.7	83.8	1.5
インドネシア	18,379	12,342	6,037	204.4	1,010	17,291	78	5.5	94.1	0.4
インド	8,119	5,553	2,566	216.4	1,209	6,731	179	14.9	82.9	2.2
バングラデシュ	5,731	4,246	1,485	285.9	835	4,856	40	14.6	84.7	0.7
マレーシア	5,480	2,912	2,568	113.4	437	5,026	17	8.0	91.7	0.3
スリランカ	4,813	3,531	1,282	275.4	398	4,367	48	8.3	90.7	1.0
パキスタン	4,613	3,960	653	606.4	548	4,026	39	11.9	87.3	0.8
イラン	3,794	3,304	490	674.3	266	3,501	27	7.0	92.3	0.7
ネパール	3,783	2,614	1,169	223.6	264	3,491	28	7.0	92.3	0.7
ミャンマー	2,931	1,599	1,332	120.0	201	2,703	27	6.9	92.2	0.9
モンゴル	2,458	1,135	1,323	85.8	219	2,213	26	8.9	90.0	1.1
アメリカ	38,581	24,694	13,887	177.8	5,219	30,773	2,589	13.5	79.8	6.7
カナダ	7,692	5,107	2,585	197.6	562	6,915	215	7.3	89.9	2.8
ブラジル	215,487	118,339	97,148	121.8	35,638	177,557	2,292	16.5	82.4	1.1
ペルー	40,444	21,407	19,037	112.4	8,095	31,827	522	20.0	78.7	1.3
ポリビア	3,866	2,078	1,788	116.2	715	3,122	29	18.5	80.8	0.8
アルゼンチン	2,755	1,505	1,250	120.4	419	2,295	41	15.2	83.3	1.5
イギリス	10,183	7,239	2,944	245.9	750	9,140	293	7.4	89.8	2.9
フランス	4,446	2,898	1,548	187.2	573	3,728	145	12.9	83.9	3.3
ロシア	4,139	1,226	2,913	42.1	388	3,674	77	9.4	88.8	1.9
ドイツ	3,654	2,259	1,395	161.9	409	2,996	249	11.2	82.0	6.8
オーストラリア	6,985	4,480	2,505	178.8	565	6,319	101	8.1	90.5	1.4
ニュージーランド	2,595	1,717	878	195.6	251	2,310	34	9.7	89.0	1.3
(参考)日本人	125,730,148	61,330,601	64,399,547	95.2	17,374,429	82,789,811	25,565,908	13.8	65.8	20.3

1) 人口2,000人未満の国籍を除く。
2) 無国籍及び国籍「不詳」を含む。

外国人人口の年齢構造を主な国籍別に人口ピラミッドでみると、韓国、朝鮮は、日本人の人口に比較的近い構造をしている。一方、韓国、朝鮮以外の国では、国籍によって男女や年齢の比率に差はあるものの、日本人に比べ、いずれも 20～39 歳の各年齢階級が突出し、老年人口が少ないといった傾向が共通している。(図3)

図3 国籍別人口ピラミッド - 全国(平成17年)



4 労働力状態

外国人の労働力人口は83万7千人で我が国の1.28%を占め、労働力率(1)は66.8%

(1) 15歳以上外国人人口に占める労働力人口の割合。労働力状態「不詳」を除く。

我が国に在住する15歳以上外国人125万4千人²のうち労働力人口は83万7千人で、我が国の労働力人口に占める外国人の割合は1.28%となっている。また、外国人の労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は66.8%となっており、日本人の労働力率61.4%と比べると、5.4ポイント高くなっている。(表4, 5)²労働力状態「不詳」を除く。

外国人の年齢別労働力率を日本人と比べると、20~59歳の各年齢階級では外国人の方が低く、15~19歳及び60歳以上では外国人の方が高くなっている。この傾向は、男女とも共通している。(表5)

表4 労働力状態，男女別15歳以上外国人人口 - 全国(平成17年)

労働力状態	15歳以上人口(人)			労働力状態別割合(%)			(参考)日本	
	総数	男	女	総数	男	女	15歳以上人口(人)	外国人の占める割合(%)
総数 ¹⁾	1,253,959	551,993	701,966	100.0	100.0	100.0	106,407,458	1.18
労働力人口	837,327	450,424	386,903	66.8	81.6	55.1	65,399,685	1.28
就業者	772,375	414,068	358,307	61.6	75.0	51.0	61,505,973	1.26
非労働力人口	416,632	101,569	315,063	33.2	18.4	44.9	41,007,773	1.02

1)労働力状態「不詳」を除く。

表5 男女，年齢(5歳階級)別外国人の労働力人口及び労働力率 - 全国(平成17年)

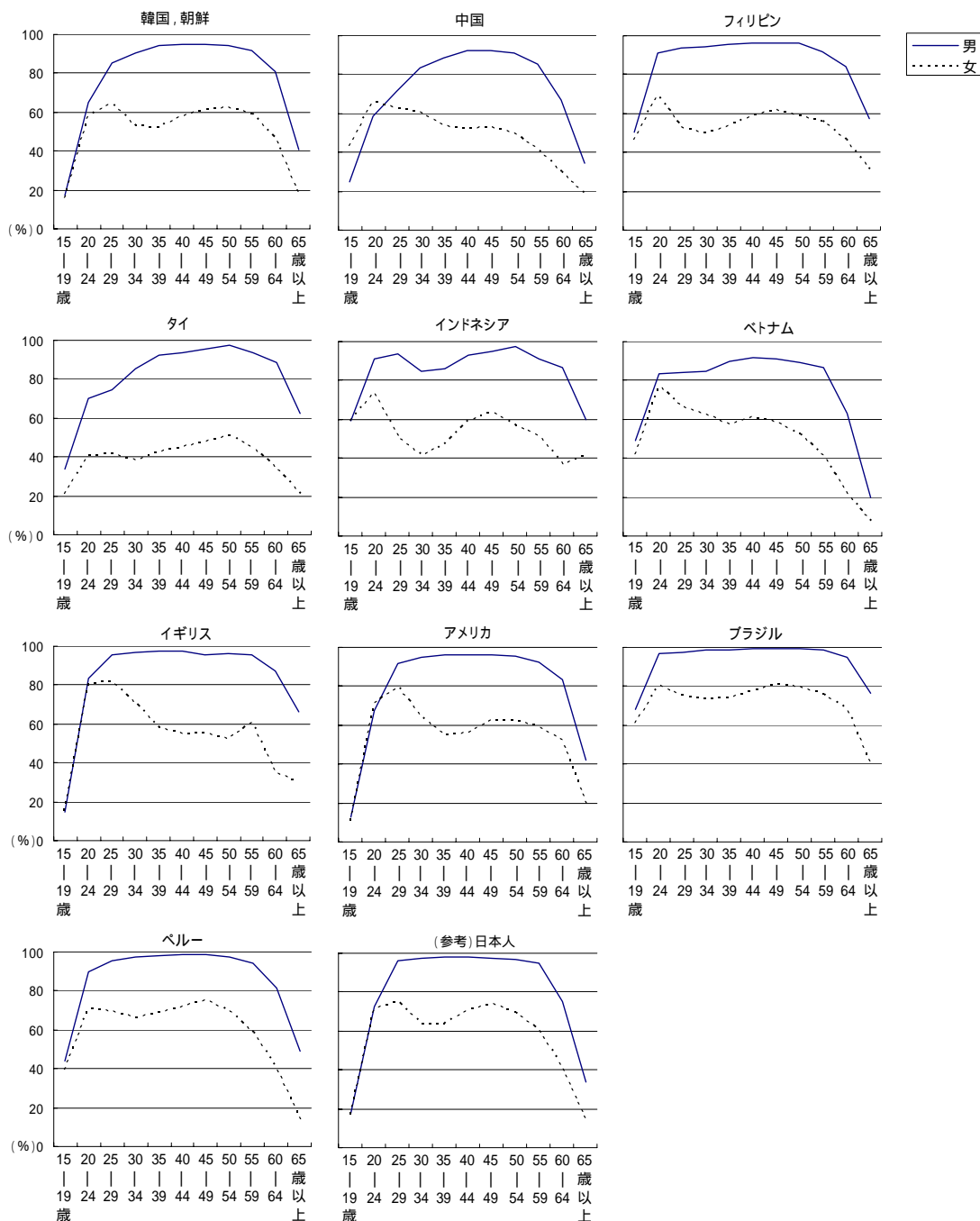
	総数	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65歳以上
労働力人口(人)												
外国人総数	837,327	21,947	112,833	135,985	127,416	115,099	97,449	72,280	57,938	44,873	27,153	24,354
男	450,424	10,327	50,908	70,869	69,643	62,832	53,569	39,467	33,318	27,343	16,757	15,391
女	386,903	11,620	61,925	65,116	57,773	52,267	43,880	32,813	24,620	17,530	10,396	8,963
労働力率(%)												
外国人総数	66.8	34.9	68.2	71.2	70.6	70.9	74.2	76.2	76.9	74.7	62.8	28.0
男	81.6	34.1	71.1	83.3	89.7	93.5	95.4	95.7	94.9	92.2	81.1	41.3
女	55.1	35.8	66.0	61.5	56.2	54.9	58.3	61.2	61.2	57.6	46.0	18.0
(参考)日本人労働力率(%)												
総数	61.4	17.3	72.0	85.5	80.5	80.8	84.3	85.6	82.8	77.3	57.3	22.5
男	75.2	17.7	72.7	95.9	97.6	97.8	97.8	97.6	96.7	94.9	75.1	34.0
女	48.7	16.9	71.3	75.2	63.6	63.9	70.9	73.9	69.1	60.4	40.8	14.2

国籍によって大きく異なる女性の年齢別労働力率

男女、年齢別労働力率を主な国籍別にみると、男性の労働力率は総じて 20～59 歳の各年齢階級で高く、山型又は台形を示している。中でもブラジル、ペルーなどは全体的に労働力率が高く、台形となっており、中国はややとがった山型で、かつ労働力率の頂点が低くなっている。

女性の労働力率をみると、国籍によって傾向が大きく異なり、フィリピン、韓国、朝鮮などは 20～24 歳と 50 歳前後に労働力率の頂点が二つある M 字型となっている。ブラジルは男性と同様に全体的に労働力率が高くなっているのに対し、タイや中国は全体的に労働力率が低くなっている。また、インドネシアは男女共に M 字型となっている。(図 4)

図 4 国籍，男女，年齢（5 歳階級）別労働力率 - 全国（平成 17 年）



5 従業上の地位

常雇の雇用者割合が高いブラジル，自営業主の割合が高い韓国，朝鮮

外国人就業者（77万2千人）を従業上の地位別にみると，雇用者（「役員」を含む。）が68万8千人（就業者数の89.0%），自営業主（「家庭内職者」を含む。）が6万2千人（同8.0%）となっている。雇用者のうち，常雇は46万7千人，臨時雇は18万人となっている。

従業上の地位別割合を国籍別でみると，常雇の割合は，ブラジル（71.2%）が最も高く，次いでベトナム（69.7%），アメリカ（68.3%）などとなっている。一方，最も低いのは韓国，朝鮮（50.4%）となっている。また，自営業主の割合は，韓国，朝鮮（18.5%）が最も高く，次いでアメリカ（10.0%），イギリス（9.7%）などとなっている。一方，最も低いのはインドネシア（0.8%）となっている。（表6）

表6 国籍，従業上の地位別外国人就業者数 - 全国（平成17年）

国 籍	就業者数（人）					割合（%）				
	総数 1)	雇用者 2)	うち		自営業主 3)	総数 1)	雇用者 2)	うち		自営業主 3)
			常雇	臨時雇				常雇	臨時雇	
外国人総数	772,375	687,617	466,935	180,069	61,831	100.0	89.0	60.5	23.3	8.0
韓国,朝鮮	225,888	169,491	113,929	31,061	41,876	100.0	75.0	50.4	13.8	18.5
中国	185,738	175,396	119,131	48,184	6,564	100.0	94.4	64.1	25.9	3.5
フィリピン	64,185	60,432	33,351	26,494	1,729	100.0	94.2	52.0	41.3	2.7
タイ	11,366	10,126	5,919	4,045	687	100.0	89.1	52.1	35.6	6.0
インドネシア	12,909	12,720	8,738	3,906	103	100.0	98.5	67.7	30.3	0.8
ベトナム	11,467	11,096	7,991	2,884	274	100.0	96.8	69.7	25.2	2.4
イギリス	7,319	6,525	4,979	1,152	709	100.0	89.2	68.0	15.7	9.7
アメリカ	22,348	19,759	15,255	3,210	2,243	100.0	88.4	68.3	14.4	10.0
ブラジル	140,830	138,881	100,327	37,388	1,542	100.0	98.6	71.2	26.5	1.1
ペルー	22,552	22,129	15,246	6,591	334	100.0	98.1	67.6	29.2	1.5
(参考)日本	61,505,973	51,673,360	40,617,427	7,716,203	6,744,850	100.0	84.0	66.0	12.5	11.0

1) 「家族従業者」及び従業上の地位「不詳」を含む。 2) 「役員」を含む。 3) 「家庭内職者」を含む。

6 産業別就業者数

「製造業」の割合が高い外国人就業者

外国人の産業別就業者数をみると，「製造業」が27万9千人（外国人就業者数の36.2%）と最も多く，次いで「サービス業（他に分類されないもの）」が11万8千人（同15.3%），「飲食店，宿泊業」が8万8千人（同11.4%），「卸売・小売業」が7万8千人（同10.1%）などとなっている。これを日本人の産業別割合と比べると，「製造業」の割合が高くなっている（日本人は17.1%）。

(表7)

産業別割合を国籍別にみると，ベトナム及びペルーでは「製造業」が65%以上を占めている。また，イギリス及びアメリカでは「教育，学習支援業」が50%以上を占めている。（表7，図5）

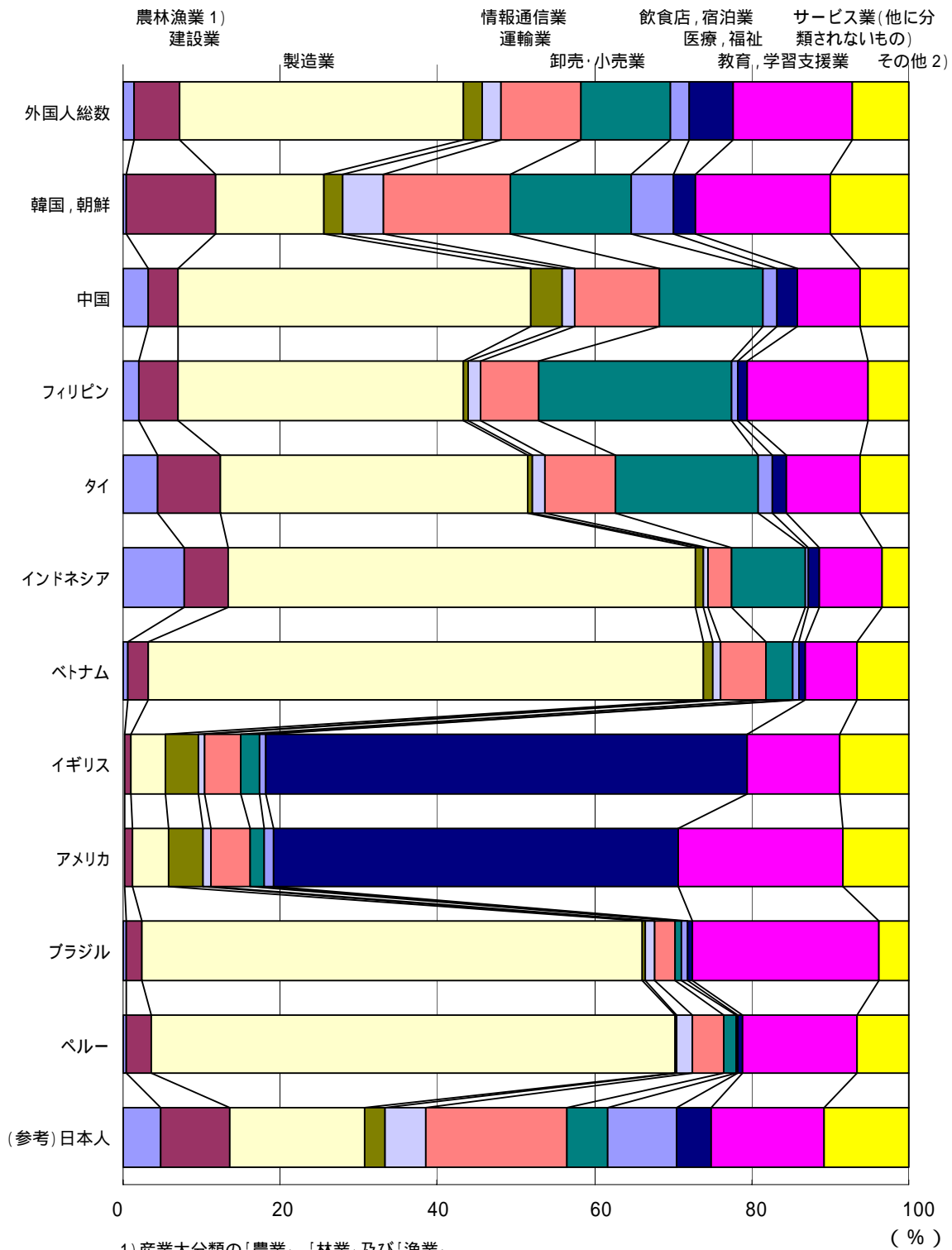
表7 国籍別外国人就業者数及び産業別割合 - 全国（平成17年）

国籍	総数	産業										
		農林漁業 1)	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	飲食店、宿泊業	医療、福祉	教育、学習支援業	サービス業 (他に分類されないもの)	その他 2)
総数	772,375	10,732	44,421	279,274	18,156	19,521	77,763	87,797	18,148	43,724	117,879	54,960
		産業別割合（%）										
		1.4	5.8	36.2	2.4	2.5	10.1	11.4	2.3	5.7	15.3	7.1
韓国,朝鮮	225,888	0.4	11.3	13.8	2.5	5.1	16.2	15.3	5.4	2.8	17.1	10.0
中国	185,738	3.2	3.7	44.9	4.1	1.6	10.7	13.3	1.7	2.6	8.0	6.2
フィリピン	64,185	1.9	5.0	36.5	0.5	1.5	7.4	24.5	0.8	1.3	15.3	5.2
タイ	11,366	4.4	7.9	39.2	0.7	1.5	9.1	18.2	1.8	1.7	9.3	6.2
インドネシア	12,909	7.8	5.7	59.4	1.0	0.6	3.0	9.3	0.3	1.4	8.0	3.4
ベトナム	11,467	0.7	2.5	70.7	1.1	1.1	5.7	3.6	0.6	1.0	6.5	6.6
イギリス	7,319	0.3	0.7	4.4	4.2	0.8	4.5	2.5	0.8	61.2	11.8	8.9
アメリカ	22,348	0.2	1.1	4.5	4.4	1.0	4.9	1.9	1.1	51.7	20.8	8.4
ブラジル	140,830	0.3	2.0	63.8	0.2	1.4	2.5	0.9	0.6	0.7	23.8	3.8
ペルー	22,552	0.3	3.4	66.5	0.3	2.0	4.0	1.5	0.3	0.6	14.5	6.6
(参考)日本人	60,733,598	4.9	8.8	17.1	2.6	5.1	18.0	5.2	8.8	4.4	14.3	10.8

1) 産業大分類の「農業」，「林業」及び「漁業」

2) 産業大分類の「鉱業」，「電気・ガス・熱供給・水道業」，「金融・保険業」，「不動産業」，「複合サービス事業」，「公務（他に分類されないもの）」及び「分類不能の産業」

図5 国籍別外国人就業者の産業別割合 - 全国（平成17年）



1) 産業大分類の「農業」、「林業」及び「漁業」
 2) 産業大分類の「鉱業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「金融・保険業」、「不動産業」、「複合サービス事業」、「公務(他に分類されないもの)」及び「分類不能の産業」

7 職業別就業者数

「生産工程・労務作業」の割合が高い外国人就業者

外国人の職業別就業者数をみると、「生産工程・労務作業」が38万4千人（外国人就業者数の49.7%）と最も多く、次いで「専門的・技術的職業従事者」が9万8千人（同12.7%）、「サービス職業従事者」が9万1千人（同11.8%）、「販売従事者」が6万6千人（同8.6%）などとなっている。これを日本人の職業別割合と比べると、「生産工程・労務作業」の割合が高いのが際立っている（日本人は28.1%）。（表8）

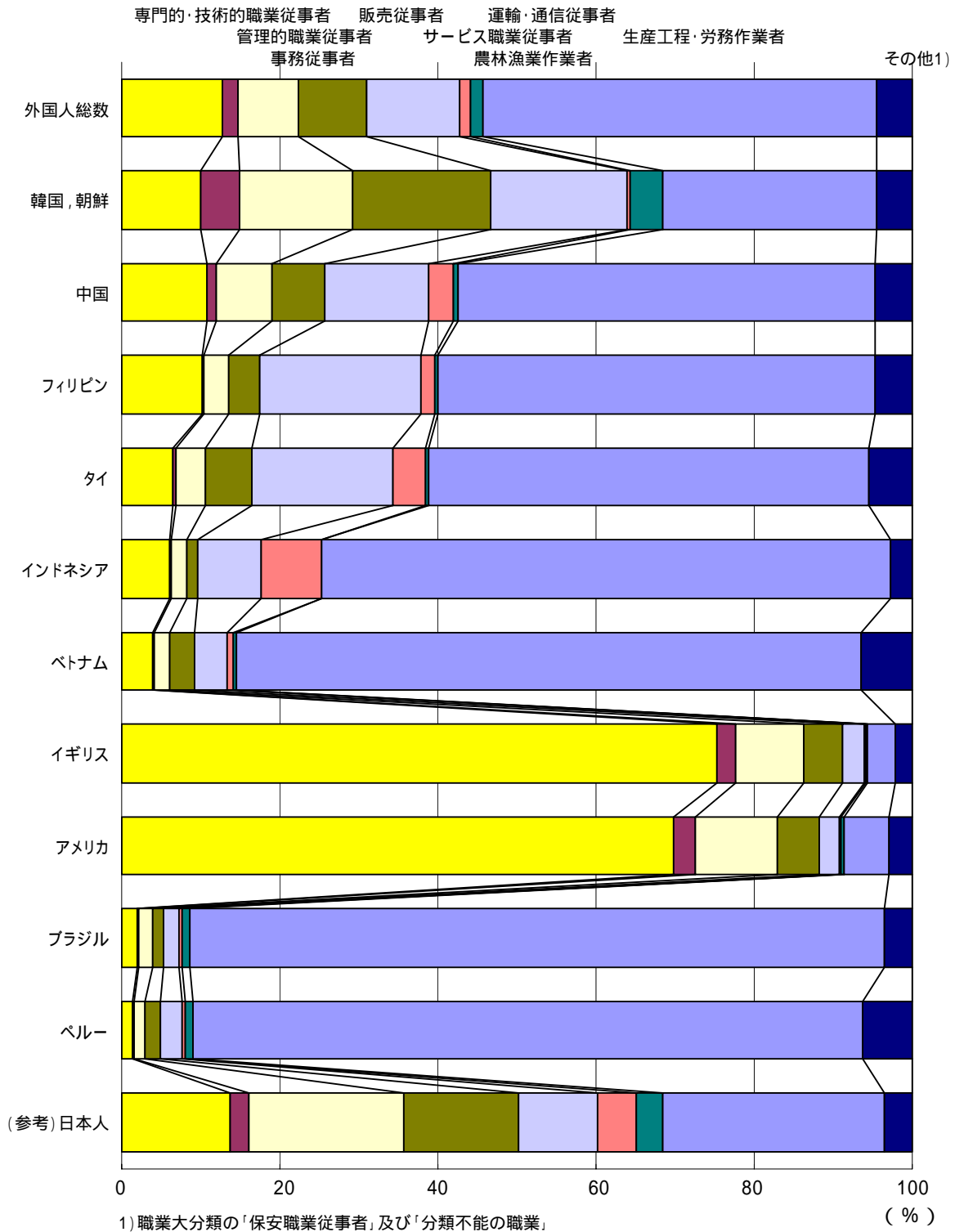
職業別割合を国籍別にみると、ブラジル及びペルーでは「生産工程・労務作業」が80%以上を占めている。また、イギリス及びアメリカでは「専門的・技術的職業従事者」が65%以上を占めている。（表8、図6）

表8 国籍別外国人就業者数及び職業別割合 - 全国（平成17年）

国籍	総数	職業								
		専門的・ 技術的職業 従事者	管理的職 業従事者	事務従事 者	販売従事 者	サービス 職業従事 者	農林漁業 作業	運輸・通 信従事者	生産工程・ 労務作業	その他 1)
総数	772,375	97,721	15,886	58,734	66,234	91,086	10,452	12,740	384,142	35,380
		職業別割合（%）								
		12.7	2.1	7.6	8.6	11.8	1.4	1.6	49.7	4.6
韓国, 朝鮮	225,888	10.1	4.9	14.3	17.4	17.3	0.4	4.0	27.1	4.5
中国	185,738	10.9	1.1	7.0	6.8	13.1	3.1	0.5	52.8	4.7
フィリピン	64,185	10.2	0.2	3.1	4.0	20.3	1.7	0.5	55.2	4.8
タイ	11,366	6.4	0.4	3.9	5.8	17.9	4.0	0.6	55.6	5.5
インドネシア	12,909	6.1	0.3	1.9	1.4	8.0	7.6	0.2	71.8	2.8
ベトナム	11,467	3.9	0.3	1.9	3.1	4.2	0.8	0.5	79.0	6.4
イギリス	7,319	75.3	2.3	8.6	5.0	2.7	0.3	0.2	3.4	2.2
アメリカ	22,348	69.8	2.7	10.4	5.3	2.6	0.2	0.4	5.6	3.0
ブラジル	140,830	2.0	0.2	1.8	1.3	2.1	0.3	1.0	87.8	3.5
ペルー	22,552	1.4	0.1	1.4	1.9	2.8	0.3	1.1	84.7	6.3
（参考）日本人	60,733,598	13.8	2.4	19.5	14.6	10.0	4.8	3.4	28.1	3.5

1) 職業大分類の「保安職業従事者」及び「分類不能の職業」

図6 国籍別外国人就業者の職業別割合 - 全国（平成17年）



8 外国人のいる世帯の家族類型

外国人のいる一般世帯のうち核家族世帯が46%、単独世帯が44%を占める

外国人のいる一般世帯数は100万3千世帯で、そのうち、外国人のみで構成される世帯は67万3千世帯（外国人のいる一般世帯の67.1%）、外国人と日本人がいる世帯が33万世帯（同32.9%）となっている。（表9）

外国人のいる一般世帯について世帯の家族類型別割合をみると、核家族世帯が45.9%、次いで単独世帯が43.9%、その他の親族世帯が8.7%、非親族世帯が1.4%となっている。

世帯の家族類型を世帯主の国籍別にみると、インドネシア及び中国では70%以上が単独世帯となっているが、韓国、朝鮮、ペルー及びブラジルでは核家族世帯が単独世帯より多く、核家族世帯がそれぞれ56.2%、54.7%、48.0%となっており、国籍によって大きな差がみられる。（図7）

表9 世帯主の国籍，世帯の家族類型別外国人のいる一般世帯数 - 全国（平成17年）

世帯主の国籍	外国人のいる一般世帯	外国人のいる一般世帯				外国人のみの世帯	外国人と日本人がいる世帯
		核家族世帯	その他の親族世帯	非親族世帯	単独世帯		
総数 1)	1,003,150	460,932	87,082	14,291	440,845	673,130	330,020
日本	250,334	193,236	51,434	5,664	-	-	250,334
韓国，朝鮮	198,662	111,695	14,655	2,128	70,184	159,141	39,521
中国	185,318	46,196	5,314	2,295	131,513	176,034	9,284
フィリピン	37,703	12,645	1,809	343	22,906	30,365	7,338
タイ	7,911	2,027	258	133	5,493	6,870	1,041
インドネシア	11,767	1,553	233	70	9,911	11,344	423
ベトナム	10,763	2,723	593	77	7,370	10,561	202
イギリス	5,984	2,112	56	175	3,641	4,390	1,594
アメリカ	19,187	7,218	280	337	11,352	14,213	4,974
ブラジル	99,147	47,619	8,135	1,601	41,792	95,810	3,337
ペルー	15,561	8,508	2,011	192	4,850	14,376	1,185
その他	160,813	25,400	2,304	1,276	131,833	150,026	10,787

1)無国籍及び国籍「不詳」を含む。

図7 世帯主の国籍別外国人のいる一般世帯における世帯の家族類型別割合 - 全国（平成17年）

